



さまざまな出会いの中で

昨年から、小学生のボランティア受け入れを始めました。今年も子どもたちは、お兄さんやお姉さんが来てくれる日を楽しみにしています。

これまでも中学生職場体験や大学生（保育学生や、医学生）が保育園に来てくれていましたが、これから先には高校生ボランティア受入れも始まる予定です。年代や学んでいることによって子どもたちとの関わり方はさまざまで、それぞれに違った魅力があります。元気いっぱいに遊んでくれる人、絵本を読んでもくれる人、そっと子どもの気持ちに寄り添ってくれる人。関わり方は違っても、子どもたちは一人ひとりの出会いを自然に受け入れ、その時間を楽しんでいます。

子どもたちにとって、さまざまな世代の人と触れ合う経験は、世界を広げる大切な機会です。

そして、（ボランティア小学生の）みなさんにとっても、子どもたちの笑顔や素直な姿から学ぶことがたくさんあるのではないのでしょうか。

子どもたちは、初めて会う人にも興味をもち、それぞれの関わりを楽しみながら、自分なりの世界を広げています。その姿を見ていると、子どもの育つ力の豊かさを改めて感じます。これからも、さまざまな出会いが子どもたちにとって温かな思い出の一つになればと思います。

子どもたちは、今日も新しい出会いを素直に喜び、一緒に笑い、一緒に遊びます。

齊当 知江

「私たちは、モーセが律法に記し、預言者たちも書いている方に会った」ヨハネによる福音書1章45節

<8月の予定>

6日（木）誕生会

☆毎週土曜日に避難訓練実施

☆玉川大学の実習生を受け入れます。

8月17日（金）～9月2日（水）

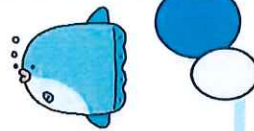
☆小中学生ボランティアを受入れます。

よろしくお願いいたします。



つぼみ組
(0歳児)

『はじめての水あそび』



つぼみ組でも、室内での水あそびを始めました。保育者がぞうさん🐘ジョーロから水を流すと、手を伸ばす子どもたち。自然とタライの周りに集まってきます。そして、じーっと見つめるだけだった子どもも友だちに影響を受けタライの水を触ってみるのです。濡れるのがおもしろいと気付いた子どもは豪快に水面を叩いてバシャバシャと水しぶき💧がかかるのを大喜びしています🌟保育者もSNSの情報から「これを作ったらどんな反応をするかな?」「これ、おもしろそう〜!やってみよう☆」と子どもたちの喜び顔を想像しながら、夏の水あそびを準備しています!今月も手作り玩具や、夏ならではのあそびをお伝えしていきますので乞うご期待🌊🌟

もも組
(1歳児)

💧水あそび、楽しんでます💧

梅雨が明け、いよいよ夏も本番。毎日暑い日が続いていますね。保育者は日々熱中症指数計とにらめっこしておりますが、楽しめる日にはテラスでの水あそびを満喫しているもも組の子どもたち♪始めのうちは「触っていいの?」といった表情で、慎重にタライの水に触れていたのですが、今ではすっかり水に慣れてきました。タライの中に両手を伸ばして、今にも泳ぎ出してしまうのでは!?と思う程に水をかいたり、ジョウロやシャワーから流れる水の下に自ら頭を出してみたりと全身で楽しんでます!カップの中に水を入れ、タライからタライへと水をこぼさないように慎重に運んだり、「どうして回るんだ?」といった表情で水車が回る様子をじーっと観察したりと、水を通して多くのことを学んでいるのだなと感じています。水あそび以外にも様々な感覚あそびを計画しているので、涼を取りながら暑い夏を楽しく乗り越えていきたいと思っています!

さくら組
(1歳児)

『どろんこあそび始めました』

夏の園庭(暑すぎない日)は光の園名物のどろんこあそび。初めは恐る恐る裸足で園庭に降り立つ子どもたち。

保育者がタライや園庭に掘った穴に水を入れると普段との違いに気付いて思い切り水をかぶったり、水たまりに入ったりと全身で楽しむ子ども…とそれを乾いた砂の上から眺める子ども。

けれど実はちょっとやってみたいと思っていたのか、次のどろんこあそびでは自ら水たまりに入ってみる姿があり、少しずつ夏の園庭を満喫できるようになってきています。

無理に誘うのではなく、お友だちの姿を見て自分から入りたい!とってくれると日々願って関わっています。



2才児クラス
たんぽぽ・すけ組



まっ
ました!!

どろんこデビュー!!

7月の梅雨明けに園庭でどろんこあそびをたのしんだ子どもたちの姿を紹介したいと思います! 暑さが少しでも落ち着いて、このどろんこあそびが今年度の夏一回きりのどろんこになってしまわないことを願うばかりです。

どろんこは準備からはじまります! 子どもたちが自分のプールバックを持って、オムツやパンツが入っているか確認します。これは日常のシャワーをする中で身に着いた流れです。「わたしはパンツ」「わたしはサブスク〜」「ビックだよ。エルじゃないよ」と子ども同士で会話をしながら確認している姿にほっこりしながらも、しっかり自分の準備をしている子どもたちに感心している保育者です! プールバックを自分で持って中階段を降り、園庭に向かう姿に昨年度からの成長をグッと感じました。



今年度が初めてのどろんことなったお友達も含めてみんな裸足で園庭に降りることはでき、楽しみ方の派手さはそれぞれでありつつも楽しむことができました。何よりも人気だったのは泥の水たまりよりもホースから出る水でした! 両手に抱えきれない程のコップを持ち水をためる子どももいれば、できるだけ大きな容器を一つだけ抱える子どももいました。最後は大きなタライに水を溜めて、泥だらけになったおもちゃと一緒に洗ってくれました。保育者が洗う予定でしたが、子どもたちは水遊び感覚で楽しみながら手伝ってくれます♪



ちゅうりっぷ組
(3歳児)

はじめての 栽培

6月に苗を植えてから1か月ほどではじめてできたピーマンはポロリと落ちてしまったためそれを半分に切り中の種を観察したり、その後の様子(日々小さく黒くなりました)を見ていきました。その間にびっくりと育った次のピーマンは収穫を行い栄養士さんに調理をしてもらい焼きそばに添えて食べました。中には「入れないで～」と両手でお皿に蓋をして拒否をする子も。食べて欲しいといった保育士側の思いはありますが、このように言えることはとてもよいことだと思います。最終的に食べることができなくてもここまでのたくさんの経験がとても大切です。次々に育っていくピーマンを次回は【ピザ】にトッピングすることがみんなの希望です。

★宝箱★

お部屋のイスに座ろうとしたHさん。一つのイスを四方八方から眺めながら「せんせい～このイス何センチ？」と。将来は建築家かな！



ばら組
(4歳児)

「楽しみにしていたすべり台！」

ちゅうりっぷ組だったころから、当時のばら組、ゆり組がプールのすべり台を滑っていることに憧れを持っていた子どもたち。そんな思いがあり、プールが始まると「すべり台は滑らないの?」「いつになったら滑れる?」と楽しみにしていました。何度目かのプールでついに滑り台を滑ることに！いざ階段を登ると、思っていたよりも高い景色に驚き、その姿を見守る周りの子どもたちからは自然と「がんばれ～」と応援の声が上がります。応援を糧に滑りだしたり、途中までは保育者と手を繋いで滑り降りたり、むしろ勢いをつけて滑ったりとしていました！どんな滑り方をしても子どもたちからは満足そうな表情が見られています！他にもばら組になって泳ぎが更に上達したことが嬉しくて泳ぎを見せてくれたり、水中に顔付けるのが怖いけど、頑張っって挑戦してみたりと、プールの中でも子どもたちは挑戦と成功を繰り返しています！

暑さでプールになかなか入れない日もありますが、子どもたちが楽しみにしているプール！楽しい思い出と挑戦、成功の場にしていけたらと思います！

ゆり組
(5歳児)

LaQ(ラキュー)だいすき♡

ゆり組にしかない玩具で、特に男児を中心に毎日夢中になって遊んでいます。進級当初と比べると、作品がどんどん進化していて、公式の作り方BOOKを見ながら正確に作る子どもはもちろんのこと、自分の好きなものをイメージして、それを形にしていけるオリジナル派もいます。また、LaQは、これまでも使っていたボックスと互換性があるので、大人では思いつかないような使い方をしている子どもや、立体にはせず、長く繋げて大好きな電車を作る子どもなど、使い方はそれぞれで、今やゆり組にはなくてはならない玩具のひとつです。このLaQ、とても細かい部品が色分けされて、5つのケースに入っているのですが、気をつけて運ばないと、ケースを落としてしまった時には床一面にLaQが散らばり、「あーーーーー💧💧」ということになります。これはゆり組あるあるで、毎年必ず数回は見られる光景なのです。フタが外れないケースにすればよい話ではあるのですが、それに直面した時に子どもたちの力が試され、回を重ねる毎に団結力や対応力が磨かれ成長していく姿を見てみると、あーやっぱり今年もこのままのケースでいこう！と思うのであります(笑) 子どもたちは日々遊びや生活の中でたくさんのことを学んでいるのですね。

ほけん

熱中症予防の基本のキ

暑い日が続いていますが、熱中症を防ぐためには生活リズムを整えて体調を良好に保つことが大切です。もちろんこまめな水分補給や日よけは欠かせませんが、十分な休養と栄養をとって体調を整えることが熱中症を遠ざけ楽しく夏をすごすための大前提となります。良好な体調は毎日の過ごし方の積み重ねでつくられます。

暑いから・・・と麺だけになっていませんか。スタミナをつけようと脂濃いものばかりになっていませんか。バランスを心がけ、偏った食事を続けないようにしましょう。暑い日が続くと疲れが蓄積していきます。旅行や行事を楽しみつつ、ゆったり過ごす時間も大切にしましょう。



おしよくじ



夏バテを防止するポイント！



① 栄養バランスの良い食事

暑い日が続くと食事もしゃべりとした冷たいものになりがちですが、そればかりではスタミナ不足になってしまいます。特に夏はエネルギー代謝に必要なビタミンB群が不足しやすいので、豚肉・レバー・枝豆・ごまなどのビタミンB1が豊富な食材を取りましょう！

② こまめに水分補給

人は汗をかくことで体温を調節します。特に夏は汗をかきやすく、水分が不足しがちです。「のどが渴いた」と思った時にはすでに脱水の症状が始まっています。甘いジュースでは糖分濃度が高いため、飲んだ後、さらに喉が渇き、糖分の摂りすぎにつながってしまいます。水やお茶を15分～20分おきにこまめに水分補給をしましょう！

水分補給 1日の目安・・・子どもの場合、体重1kgあたり100mlから150mlが必要とされています。

③ 睡眠

眠りが浅く、すっきりしない状態が続くと疲労感、眠気、集中力の低下につながります。室内の温度・湿度を調節し、睡眠の質を高めましょう！



おひさまぶんこ

「地球のどこか遠い国で」



子どもが少なくなり 静かな時間になると、年長のAさんが度々保育者のところに持ってくる一冊の絵本がありました。

「ぼくがラーメンたべてるとき」(作・長谷川義文・教育画劇)

はじめてこの絵本を手にした時、ラーメンのどんぶりを かかえている少年の表紙を見て、「どんな面白おかしい絵本かな?」と、わくわくしながら読みました。

内容は想像と全く違うものでした

絵本を「よんで」と持ってきた彼は、夜の保育室の保育者のひざの上で絵本をめくりながら、地球のどこか遠い国に住む、会ったことのない友だちに静かに心を通わせていたのかもしれません。

現在はリアルタイムの世界情勢をTVやネット等の映像を通して観る(知る)ことが出来るので、4,5歳の子どもたちでも、世界のどこかで今日戦争により悲しい思いをしている人がいることを知っている子もいます。

今夜食べるごはんが楽しみだったり、ゆっくりお風呂に入ったり、あったかいふとんで安心して眠ったり、それが世界中の子どもたちにとって当たり前出来る世の中でありたいと誰もが願っているはずです。

夏の読書のひととき、ほんの少しだけ日本でも昔戦争があったこと、今でも、世界のどこかの国で、泣いている子どもがいるということ、絵本を通して親子で話すきっかけになれば、と思っています。(たると)

- 「ぼくがラーメンたべてるとき」 作・長谷川義文 教育画劇
 - 「へいわってどんなこと」 作・浜田桂子 童心社
 - 「かわいそうなぞう」 絵・たけbaumといちろう 文・つちやゆきお 金の星社
 - 「へいわってすてきだね」 詩・安里有生 絵・長谷川義文 かんざ新社
- ↳ 2013年 沖縄県慰霊の日の式典で6歳の安里有生さんが朗読した詩